

2014年7月7日

日華化学株式会社
福井市文京4丁目23-1
<http://www.nicca.co.jp>

台湾日華化学工業股份有限公司 桃園に新研究所を開設

日華化学株式会社（代表取締役社長：江守康昌、以下「日華化学」）の連結子会社である台湾日華化学工業股份有限公司が建設を進めていた新研究所「NICCA Advanced Research Center（日華先端研発中心）」が完成し、本日7月7日に竣工式を行いました。式典には、尹啓銘国策顧問をはじめ、呂正華經濟部工業局副局長・陳淑容桃園県工商發展局長など台湾政府関係者やITRI、TTRI 幹部など産業界から100名を超える方々にご出席いただき、当社からは代表取締役社長の江守康昌らが出席しました。新研究所では繊維産業向けの界面化学製品、台湾の基幹産業のIT関係等をはじめ、日華グループの新規事業開拓の柱となる先端技術の研究開発を行います。今後は研究員の充実、オープンイノベーションの促進を行いながら、日本の技術力と合わせ、中国やアセアンをはじめとするアジア諸国でのビジネスを展開していきます。またこれを機に、新北市板橋区にあった管理部門や営業部門も桃園に集約し、より強固な体制でお客様の要望、ニーズを掴み、製品の開発や製造・販売を行います。



NICCA Advanced Research Center
(日華先端研発中心)



【テープカット】左から4番目 尹啓銘国策顧問
左から3番目 呂正華經濟部工業局副局長
右から2番目 陳淑容桃園県工商發展局長

NICCA Advanced Research Center（日華先端研発中心）

敷地面積 751.23㎡（鉄筋4階建て）

総床面積 3,201.03㎡

総工費 約7,000万NT\$

1. 顧客に近い場所で要望、ニーズを掴み、製品開発を行なう
2. 新規分野の開拓 電子材料・メディカル・ウレタン等
3. 台湾工業技術院（ITRI）や台湾紡織産業総合研究所（TTRI）など研究機関との連携 他

○式典での社長挨拶の骨子

台湾日華は、1968年に台湾企業と日華化学が合併ビジネスとして繊維業界の発展に貢献してきました。46周年を迎える今年、新研究所「NICCA Advanced Research Center（日華先端研发中心）」をオープンし、繊維だけでなく新規分野のビジネスを含む、台湾を発信基地にした界面科学の可能性にチャレンジします。

日華化学は高度な発明を実際のビジネスに移行する段階で、欠くことのできない機能を提供できる界面科学の技術があります。顧客や各分野の研究者が集まって「創発」の場となり先端技術が生まれる「オープン・イノベーションの場」として当研究所を活用していきたい。

本日は尹啓銘国策顧問をはじめ、多くの台湾政府関係者や研究所幹部の方にお越しいただき、大変光栄に思うと同時に大きな責任を感じており、是非成果を挙げて台湾産業の発展に寄与したいと考えています。

○参考資料：



台湾日華化学工業股份有限公司

董事長 江守 康昌

総経理 詹 哲茂

副総経理 宮本 和浩

・住所 台湾 桃園県観音郷観音村環南路 729 号
(桃園科技工業園区)

・敷地面積 22,200.92 m²

・生産能力 1,500 t / 月

・物流倉庫在庫能力 1,350t

・従業員数 約 90 名 (うち研究員数 16 名)

・主要な事業内容：工業用界面活性剤の製造・販売

・設立 1968 年

・売上 2,437 百万円 (2013 年度実績)

●本件に関するお問い合わせ先

日華化学株式会社 管理部門 経営企画部 広報グループ

〒910-8670 福井市文京 4-23-1 TEL：0776-25-8551 (直)

FAX：0776-21-9227 (直)